

(イ) 業態別 重大事故発生状況

平成30年中における事業用自動車の重大事故発生状況を、事業の業態別に示すと〔表 4〕のとおり。

総件数364件に対する業態別発生件数の割合は〔図 4〕にあるように、トラックによるものが最も多く全体の44%を占めており、次いでバス40%、ハイタク16%となっている。

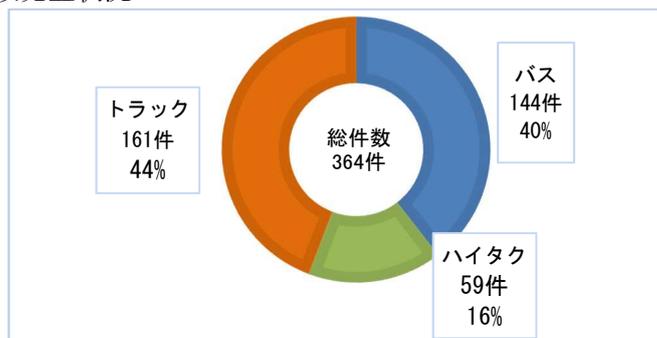
業態別の死者、重傷者の内訳をみると〔図 5〕のとおりで、死者の内78%がトラックによるもので、ハイタク17%、バス5%となっている。また、重傷者については45%がトラックによるもので、ハイタクが35%、バスが20%となっている。

業態別事故100件当たりの人身被害者数は〔表 4〕のとおり、死者の発生状況ではトラックによるものが最も多く36.6人、次いでハイタクが22.0人、バスが2.8人となっており、重傷者についてはハイタクが最も多く74.6人、次いでトラックが35.4人、バスが17.4人となっている。

〔表 4〕業態別 重大事故発生状況

区分		業態別	バス	ハイタク	トラック	合計
件数			144	59	161	364
死者			4	13	59	76
負傷者	重傷者		25	44	57	126
	軽傷者		61	26	56	143
	計		86	70	113	269
事故百件当り	死者		2.8	22.0	36.6	20.9
	重傷者		17.4	74.6	35.4	34.6
	軽傷者		42.4	44.1	34.8	39.3

〔図 4〕業態別重大事故発生状況



〔図 5〕人身被害者数の内訳

